

【国語の教材】

新小学問題集 4年・漢字ガイドス4年・補助冊子「漢字学習の手引き」

◆ 準備編

確認テストに備えて、しっかり準備する学習習慣をつけましょう。

- ①漢字ガイドスの各章(4 ページ)ごとに、週 1 回のペースで漢字テストを実施します。
特に書き取り練習の後半 2 ページから、70 点分を出題します。
まず、これらを漢字予習プリントでしっかり覚えてきてください。
70 点を合格点として、漢字テストに備えた家庭学習がしっかりできることを目指します。

次に、「漢字学習の手引き」には、漢字の知識を徹底して絞り込み、県内入試に必要な内容と、漢字テストへの学習の仕方をまとめてあります。
この手引きにそって、テスト範囲の漢字を用いた四字熟語や、類義語・対義語、熟語の組み立てなどの応用問題を 30 点分出題します。テストで確実に合格点が取れるようになったら、次は漢字辞典や「漢字学習の手引き」を開いて、満点を目指す学習にもチャレンジしましょう。

なお、間違えた漢字はすぐに直して、正しく漢字を書けるようになるまで練習しましょう。

- ②各授業でミニプリントを配布→宿題→次回授業で答え合わせをしています。
漢字の部首や音訓、慣用句や四字熟語などの知識事項を、少しずつ身につけてもらう目的です。
短い時間でできるので、こまっていたらご家庭で手助けしてあげてください。少しずつでもコンスタントに、勉強を続ける習慣をつけましょう。

- ③テキストに扱われている文章を事前に読んでみましょう。(国語が苦手な子向け)
文章を読み、お話を知っていることは、授業への積極的な参加も促します。
なんとなく読むのではなく、文章の流れや意図されていることを読む力を養いましょう。テキストに掲載された文章は、子供たちの、興味の範囲を超えて、入試に出題されるテーマや傾向を網羅したものとなっています。

極端に文章を読むのが苦手、国語が苦手という場合でも、ご家庭でテキストの文章を音読させて、内容を考えさせるような読み方をしてみると、文章への興味が増し、書かれた内容が頭に残るようになります。さらに、次に読む文章の理解のための素地となります。
ただし、出典の文章を読むことに重点をおきましょう。問題を先に進めることはお勧めしません。

◆ 授業編

積極的に聞き、後に残る作業をし、必ず自分の頭で考えましょう。

テキストを使って、文章をしっかり理解するための読み方の練習をします。板書と同じように、傍線や囲みをつけながら、チェックポイントに慣れるようにしましょう。

① 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

① 問題提示 1
道具を使うのは、人間だけなのだろうか。また、人間は、最初、何のために道具を使い始めたのだろうか。

② 問題提示 2
「他の動物と人間のちがいを取り立てて、人間とは何かを表現する言い方の一つに、『人間とは、道具を使う動物である。』というのがある。人間と道具との深い関係からみて、この言い方は、一見、大変適切ないように思える。

仮説①
③ ところが、アフリカに生息する野生のチンパンジーの研究が進むにつれて、チンパンジーもまた簡単な道具を使うことがわかってきた。

④ 東アフリカのサバンナには、シロアリの作った大きなアリ塚がある。チンパンジーは、アリ塚の中へ細い棒をつっこみ、シロアリをつり上げて食べる。また、西アフリカのチンパンジーは、歯で削りださない固いアブラヤシの実を、石で割って食べる。チンパンジーは、削りだした道具を使っているのだから、道具を使うのは人間だけだと、単純に決めつけることはできなくなる。

仮説②
⑤ かえてみてはどうであろうか。道具を作る——自然にある物を加工するという行動は、単に自然にあるものを道具として使うという行動よりも、高い知能を必要とする。これならば、人間だけに当てはまる表現にならないだろうか。

⑥ わたしの友人が、細い棒切れて、シロアリつりをやってみた。さつぱりうまくいかない。チンパンジーが使った棒を調べてみて、その理由がわかった。つり棒は、しなやかなものでなければならぬのだ。細くても固いものだ。シロアリは、うまくみつっこみることができない。そのために、チンパンジーは、しなやかな細い枝や木の植物を選ぶ。枝がつかの皮を歯や手ではぎ取ったり、先をどがらせたりする。

⑦ チンパンジーは、シロアリという食物を得るために、目的に合った材料を選び、それを、都合のいいように加工しているのだから、チンパンジーも、道具を作る能力を持っているわけである。

⑧ チンパンジーの作る道具は、人間のそれに比べると、大変簡単なものである。かれらは、自然にある物に、手や歯で加工するにすぎない。これを、道具の一次的製作という。人間の道具は、原始的なものでも、石で先をけずったりとがらしたりしてある。石器がこの典型的なものだが、このように、道具を使って新しい道具を作ること、道具の二次的製作という。

⑨ だから、人間と、サル類であるチンパンジーとのちがいは、道具に關していえば、二次的製作の能力を持っているかどうかにある、ということになる。

結論

書き込みは自分なりに文章を理解するためのものです。

板書は見やすいようにカラーにしますが、模試や入試では、カラーペンは使えません。

鉛筆で構いませんので、自分なりに工夫してチェックしましょう。

解答のまとめ方の技術を習得しましょう。

設問ごとにどのような答え方をすればよいのか、どういう手順でまとめて、どのように文を結べばよいのかといった、解答の技術を意識的に做うようにしましょう。

そのためには、自分で書いてみることに、何度でも書き直す手間を厭わないことも大切です。

◆ 復習編

自分でもまねてみましょう。

メンバーズサイトにある模試の過去問などを利用して、文章を読みながら、傍線や囲みをつけて、自分でもチェックの練習をしてみましょう。自分が読んだ足跡を残すことで、文脈がわかるようになり、もう一度探したい箇所もすぐに見つかるようになります。